

令和5年度下期募集分「芸術活動振興事業助成金」応募団体の審査結果について

令和5年8月23日にアーツカウンシル部会において厳正な審査を行った結果、下記のとおり決定しました。

<応募総数>

137件

<助成予定件数>

72件

<審査結果一覧>

	申請件数	助成予定件数
演劇	50	30
邦楽	5	1
邦舞	2	2
洋楽	41	18
洋舞	6	2
古典芸能	10	7
大衆芸能	8	4
美術	13	8
映画	2	0
合計	137	72

<アーツカウンシル部会(芸術活動振興事業に関する審査員※令和5年8月23日時点)>

委員名	役職
宮崎 優也	アーツカウンシル部会長
北村 智子	アートアドミニストレーター
志村 聖子	相愛大学音楽学部 准教授
畑 律江	毎日新聞客員編集委員
原 久子	大阪電気通信大学総合情報学部 教授
広瀬 依子	追手門学院大学文学部・国際教養学部 講師
松尾 美矢子	フリーランス演芸ライター
山納 洋	大阪ガスネットワーク株式会社 都市魅力研究室長

分野	No.	申請団体名	分野	No.	申請団体名
演劇	1	合同会社stamp	洋楽	37	大阪フロイデ合唱団
演劇	2	劇団大阪	洋楽	38	一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団
演劇	3	株式会社INDEPENDENT	洋楽	39	イル・コレッジョ・バロッコ
演劇	4	劇団未来	洋楽	40	一般社団法人アンサンブル・レネット
演劇	5	一般社団法人清流劇場	洋楽	41	廣澤敦子
演劇	6	株式会社関西芸術座	洋楽	42	有限会社おふいすベガ
演劇	7	うさぎの喘ギ	洋楽	43	山本 欽也
演劇	8	劇団五期会	洋楽	44	特定非営利活動法人西臼杵教育振興連合会
演劇	9	Cheeky☆Queens	洋楽	45	なおみヴァイオリン教室
演劇	10	虚空旅団	洋楽	46	musica Mosso
演劇	11	紙芝居屋のガンチャン	洋楽	47	CREMONALABO株式会社
演劇	12	Z system	洋楽	48	千里フィルハーモニア・大阪
演劇	13	安住の地	洋楽	49	森美鈴
演劇	14	演劇ユニット・チーム銀河	洋楽	50	SOM vocal ensemble
演劇	15	悪い芝居	洋楽	51	日本古楽アカデミー.
演劇	16	テノヒラサイズ	洋舞	52	大阪タンゴ
演劇	17	劇団石	洋舞	53	N-Trance Fish
演劇	18	大阪女優の会	古典芸能	54	奏会実行委員会
演劇	19	mogamos合同会社	古典芸能	55	正陽会
演劇	20	コトリ会議	古典芸能	56	女流義太夫瑠璃の会
演劇	21	劇団しし座	古典芸能	57	大阪ミナミ国際文化交流委員会
演劇	22	立ツ鳥会議	古典芸能	58	大の会
演劇	23	浪花人情紙風船団	古典芸能	59	株式会社コテンゴテン
演劇	24	万博設計	古典芸能	60	一般社団法人瓦照苑
演劇	25	STAR☆JACKS	大衆芸能	61	旭堂南鈴
演劇	26	ポータブル・シアター	大衆芸能	62	旭堂南斗
演劇	27	マシュマロテント	大衆芸能	63	真山隼人
演劇	28	匿名劇壇	大衆芸能	64	特定非営利活動法人音頭座がらく
演劇	29	マルレーベル	美術	65	飯島暉子
演劇	30	ばぶれるりぐる	美術	66	中西 らつ子
邦楽	31	日本電子音楽協会	美術	67	NO ARCHITECTS
邦舞	32	李綾子韓国伝統舞踊研究所	美術	68	BABEL派
邦舞	33	公益社団法人日本舞踊協会 関西支部 大阪ブロック 北地区 北星の会	美術	69	Stilllive
洋楽	34	Go-Musique	美術	70	韓成南
洋楽	35	鼓樂	美術	71	インスタ部
洋楽	36	KING COLUMBIA	美術	72	Yukawa-Nakayasu

交付決定件数（一般助成）	72件
交付決定額計	9,073,000円

令和 5 年度 大阪市芸術文化活動助成（一般・下期）の審査について

2019 年初旬より世界的パンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症ですが、2023 年 5 月より感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同等の 5 類感染症に変わりました。世間ではコロナ前の日常に戻りつつある一方、体調不良者が出た場合には、公演、展示、イベントなどは中止しなければならない状況が続いています。

コロナが引き起こした諸々の課題を乗り越えることを考えると同時に、細心の注意を払って活動続けることは、文化芸術に関わる人々にとって過酷なものだと容易に想像できます。そのような環境下においても、文化芸術の灯火を絶やさないように努力している大阪の芸術や文化を支える芸術家、団体、お客様、全ての文化芸術関係者に改めて心より感謝申し上げます。

令和 5 年度一般助成（下期）では、合計 137 件（うち新規が 65 件）の申請があり、うち 72 件（うち満額は 26 件、新規は 25 件）を採択しました。コロナ禍の厳しい状況で地道に活動されている申請者の想いに直面すると、一つでも多くの申請を採択したい想いに駆られます。しかし、限られた財源を如何に有効に配分していくのか？本助成金は市民の皆さまが納める税金を原資とするため、税金を投入する説明責任が十分に果たせる申請内容であるか？など、様々な視点と責任を持って審査会に臨みました。

様々な表現分野を一つの基準で審査する難しさに加え、技術を研鑽し表現を極める類の芸術から、多様性や社会包摂等を主軸におくソーシャルアート系の活動まで、多種多様な価値観を元に行われる文化芸術活動の性質を一つの審査基準によって選定することになるため、活動の内容やレベル、社会性や公益性、採択事業の表現分野や性質の分布など、様々な観点から協議して最終的に採択事業を決定しました。

今回の申請で採択されなかったと言って、申請内容や申請者の活動が良くない、認められるべきものではない、という意味ではありません。悲観的にならずブラッシュアップして継続して申請をして頂けたら幸いです。

以下は審査会の時に直面した難しさや課題です。今後の申請の参考にして頂ければと思います。

- 実際に素晴らしい活動をされていたとしても、審査書類において具体的な内容が説明されていない事業や申請者にとっての創造・新規性や発展性が不明瞭な事業は、審査基準で十分な点数を取ることができず不採択となる傾向がありました。
- 交付要項の「助成対象外活動」(1)(2)に示されている通り、本助成金は、営利を目的としているもの、趣味の教室またはカルチャー教室の発表の場のような事業は助成対象外です。申請している事業内容が、それら助成対象外活動でないことを説明する必要がある場合には、審査基準である「良質性」や「参加・普及性」について詳しく記載してください。
- 申請している事業内容と収支計画の整合性が無いもの、特に不必要な経費の計上や過剰計上があった場

合には、交付要項の「助成対象外活動」(10)アーツカウンシル部会において適当でないと認められるものと判断し、採択を見送るものがありました。

- 助成金無しでも取り組むことが可能な活動に対して、審査基準である「効果性」を示すことは困難です。本助成金があることにより、どのように市民に優れた芸術活動の鑑賞機会を提供し、情操の涵養に寄与することが期待できるのか？新しい工夫や取り組みがあるのか？どのような社会性や公益性が付加できるのか？などを具体的に詳しく記載してください。

私たち大阪アーツカウンシルは、令和 4 年度に「大阪における文化芸術関係者の実態調査」や「大阪市芸術活動振興事業助成金 アンケート調査」を実施することにより、大阪の文化に関する基礎データや文化芸術関係者のニーズの把握など、シンクタンクとしての役割を果たしています。加えて、事業視察や日々の業務の中で行われる文化芸術関係者へのヒアリング等を通して現場の声を集め、それを元に文化芸術の担い手へのサポートなどの現場支援や、文化芸術を生かした新たな提案の実施などにも取り組んで参ります。

今後も大阪アーツカウンシルの活動を通して、大阪における皆さまの活動を心より応援させていただきます。

大阪アーツカウンシル統括責任者

宮崎 優也